**個人「研究」発表要旨　 様式 ①**

・≪≫の箇所には、≪≫内の内容を記載した後、※.≪≫内及び≪≫そのものは削除する。

・（）内には、そこに書かれてある内容を記載し、（）そのものも残す。

・本文は明朝体細字**10.5pt**で記載する。

≪タイトル：ゴシック体≫

≪サブタイトル＝ゴシック体≫

≪一行空き≫

○≪発表者の氏名≫（所属先）≪府県名≫社会福祉士会（会員番号）

≪共同研究者氏名≫（会員番号・所属社会福祉士会）、≪共同研究者氏名≫（会員番号・所属社会福祉士会）、≪共同研究者氏名≫（会員番号・所属社会福祉士会）

Ⅰ．研究目的

≪この研究はどのように社会に貢献するか、意義があるかなど、研究目的を記述≫

Ⅱ．研究方法≪「研究目的」をどのような手順で明らかにするかを記述≫

Ⅲ．倫理的配慮≪必ず明記する≫

Ⅳ．結果≪調査（アンケート、インタビューなど）の結果、または、事例等を記述≫

Ⅴ．考察

≪「Ⅳ．結果」（または、支援経過）を受けて、なぜそのような調査研究結果になったかの考察を記述≫

Ⅵ．結論

参考文献：

※A4版縦用紙横書き2枚で以上のような構成として、必要に応じて見出しを工夫して作成して下さい。

※日本社会福祉士会『研究誌』を参考にして記述してください。最新号をご確認ください。

**個人「実践報告」発表要旨　 様式 ②**

・≪≫の箇所には、≪≫内の内容を記載した後、※.≪≫内及び≪≫そのものは削除する。

・（）内には、そこに書かれてある内容を記載し、（）そのものも残す。

・本文は明朝体細字**10.5pt**で記載する。

≪タイトル：ゴシック体≫

≪サブタイトル＝ゴシック体≫

≪一行空き≫

○≪発表者の氏名≫（所属先）≪府県名≫社会福祉士会（会員番号）

≪共同発表者氏名≫（会員番号・所属社会福祉士会）、≪共同発表者氏名≫（会員番号・所属社会福祉士会）、≪共同発表者氏名≫（会員番号・所属社会福祉士会）

Ⅰ．実践の概要・目的

≪この実践はどのように社会に貢献するか、意義があるかなど、実践目的を記述≫

Ⅱ．実践の内容

Ⅲ．倫理的配慮≪必ず明記する≫

Ⅳ．実践の経過

Ⅴ．考察

≪「Ⅳ．実践の経過を受けて、なぜそのような結果になったかの考察を記述≫

Ⅵ．結論

参考文献：

※A4版縦用紙横書き2枚で以上のような構成として、必要に応じて見出しを工夫して作成して下さい。

※日本社会福祉士会『研究誌』を参考にして記述してください。最新号をご確認ください。

**近畿ブロック大会 研究・実践報告発表申込 自己チェックリスト 様式 ③**

発表者の氏名（　　　　　　）　所属府県名（　　　　　）社会福祉士会会員番号（）

※必ず下記の項目について確認し、レ点を入れて、自己チェックをしてください。

（チェックがないものについては申し込みを受け付けられませんので、ご了承ください）

倫 理

□ １ 対象者の安全及び人権の擁護、特に研究に関する知る権利、自己決定の権利に対する配慮が

できている。

□ ２ 個人情報や秘密の保持、写真の使用などプライバシーに配慮できている。

□ ３ 対象者に行った倫理的配慮を明記している。

□ ４ 日本社会福祉士会研究倫理規程、正会員に所属する社会福祉士が実践研究等において事例を

取り扱う際のガイドライン、研究倫理ガイドライン、論文等の投稿に関するガイドラインに反

していない。

構 成

□ １ 原稿の冒頭には、タイトル、サブタイトル（任意）、発表者氏名・所属先・所属社会福祉士会・

会員番号、共同研究・発表者の氏名・会員番号・所属社会福祉士会が記載されている。

□ ２ 本文は、研究目的、研究方法、論理的配慮、結果、考察、結論（報告は、目的、内容、

倫理的配慮、実践の経過、考察、結論）を見出しに使用しながら、もしくはこれらを意識しながら構成されている。

研究・実践発表原稿記載様式

□ １ 研究方法の分類が選択されている（研究発表のみ）。

□ ２ 発表希望分科会が選択されている。

□ ３ 原稿はＡ４版横書き、２枚で作成されている。

□ ４ ワードで作成されている。

□ ５ 発表者氏名の前に「〇」をつけてある。

□ ６ 余白は、上下左右を25ミリ以上としている。

□ ７ フォントは明朝体細字10.5ptで作成されている。

□ ８ 文体は「である調」で作成されている。

発表原稿以外の発表資料の有無

□ 有 ・ □ 無